HostSonar Dolphin

(C)2014 *Realize,Inc.*

概要

HostSonarDolphin は、任意ホストの死活を監視するプログラムです。
設定した時間帯、間隔で任意のホストのPING応答と指定ポートを監視します。

免責事項

本ソフトウエアを使用した事によるいかなる損害も補償いたしません。使用者の責任においてご使用ください。
改良依頼や不具合の報告はメール又は掲示板にて報告を受け付けいたします。
尚、可能な限り改善に努めますが、不具合の変更は保証致しかねますので予めご了承ください。
本プログラム並びに取扱説明書はバージョンアップによる仕様の変更がある場合があります。
予めご了承ください。

著作権

本ソフトウエアの著作権は株式会社リアライズにあります。
転載、及び配布は自由に行なって頂いて結構ですが、ダウンロードされた内容に変更の無いようにお願いします。
尚、転載の場合は予め、弊社までその旨をご連絡頂けますと幸いです。

動作環境

1)対応OS / 必要となるアプリケーション
Microsoft Windows Vista / 7 / 8
.NET Framework 2.0以上

インストール方法

1)hostsonardolphin.lzhをダウンロードします。

2)ダウンロードしたファイルを任意の場所（フォルダ）に解凍します。

3)解凍後、HostSonarフォルダが作成されます。

※必要に応じ、HostSonar.exeのショートカットを作ってください。

アンインストール方法

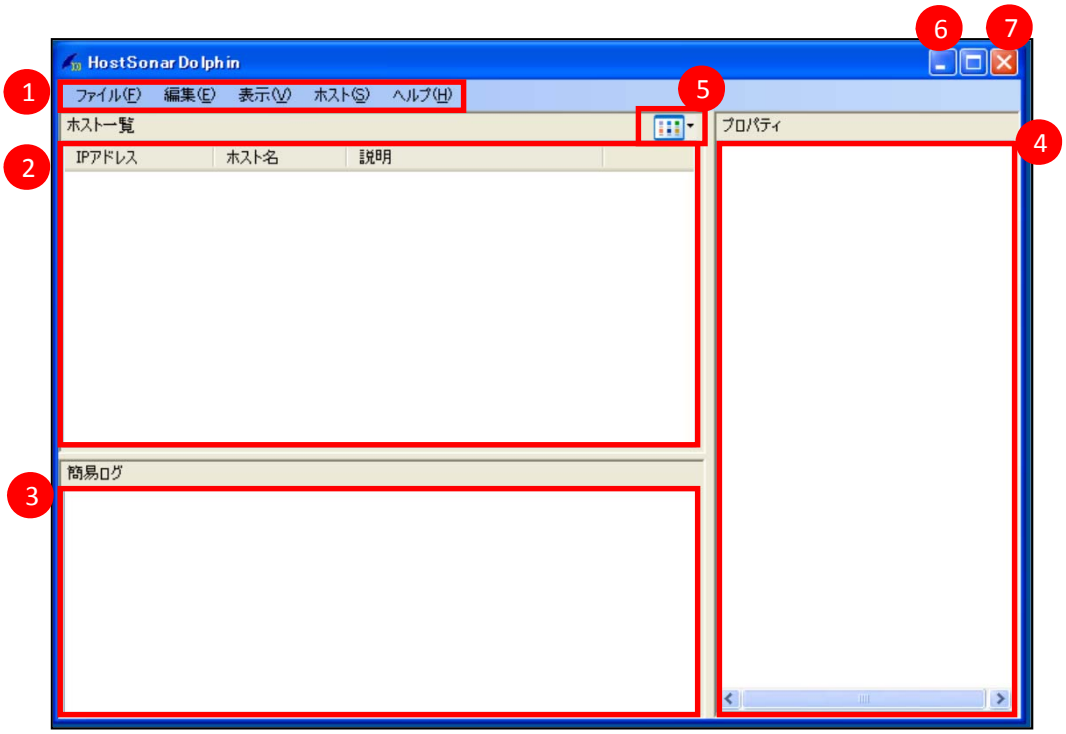
インストールしたHostSonarフォルダとフォルダ内のファイルを全て削除して下さい。

※バージョンアップなどで現在の設定を引き継ぐ場合は、HostSonar.iniを保存して下さい。
HostSonar.iniを上書きすることで設定を引き継ぎます。

実行方法

インストールしたHostSonar.exe（ショートカットを作成された場合はショートカット）を実行して下さい。

メイン画面



①メニューバー

HostSonarDolphinに関する設定をします（☞メニューバーの項を参照してください）。

②ホスト一覧

監視対象ホスト一覧を表示します（☞ホスト一覧の項を参照してください）。

③簡易ログ

指定した監視対象ホストの監視設定を表示します。

④プロパティ

簡易ログを表示します。
最上段に最新ログを表示します。

⑤表示ボタン

ホスト一覧の表示を変更します（☞表示の項を参照してください）。

⑥最小化ボタン

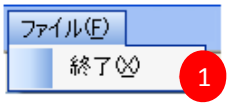
HostSonarDolphinを通知領域(タスクトレイ)に格納します。

⑦閉じるボタン

HostSonarDolphinを終了します。

メニューバー

1)ファイル



①終了

HostSonarDolphinを終了します。

2)編集

監視中の場合：

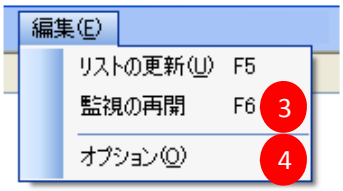
①リストの更新

ホスト一覧を最新の状況に更新します。

②監視の停止

全体の監視を停止します。

停止中の場合：



③監視の再開

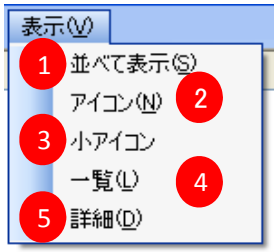
全体の監視を再開します。

④オプション

オプション設定画面を開きます。

（☞オプション設定の項を参照してください)。

3)表示



①並べて表示

表示を並べて表示にします。

②アイコン

表示をアイコンにします。

③小アイコン

表示を小アイコンにします。

④一覧

表示を一覧にします。

⑤詳細

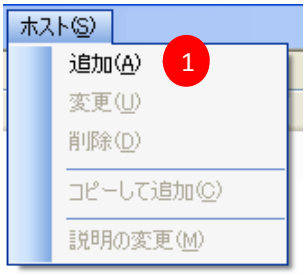
表示を詳細にします。

※表示の違いについては表示の項を参照してください。

メニューバー

3)ホスト

ホストを選択していない場合：



①追加

ホスト監視設定画面を開き、監視ホストを追加します。

②変更

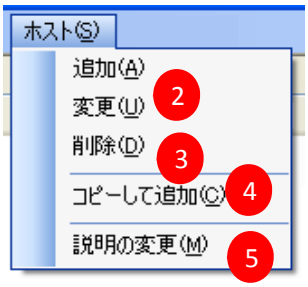
ホスト一覧の変更対象ホストを選択し、変更します。

③削除

ホスト一覧の削除対象ホストを選択し、削除します。

※iniファイルに保存されている設定も削除します。

ホストを選択している場合：



④コピーして追加

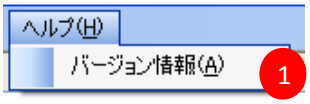
ホスト一覧のコピー対象ホストを選択し、
選択したホストの設定をコピーして追加します。

⑤説明の変更

ホスト一覧の説明の変更対象ホストを選択し、説明の変更をします。

※②～⑤は監視ホストを選択していない場合、選択できません。

4)ヘルプ



①バージョン情報

HostSonarのバージョン情報を表示します。

表示

1)表示ボタンメニュー

①並べて表示

表示を並べて表示にします。

②アイコン

表示をアイコンにします。

③小アイコン

表示を小アイコンにします。

④一覧

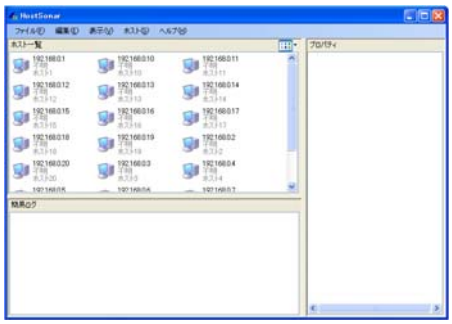
表示を一覧にします。

⑤詳細

表示を詳細にします。

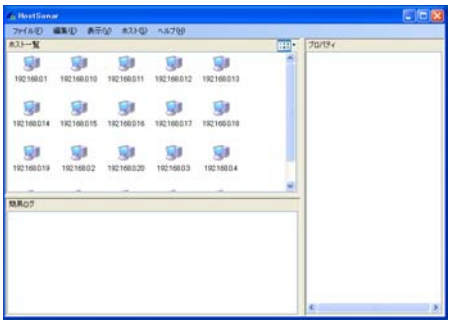
2)表示内容

①並べて表示



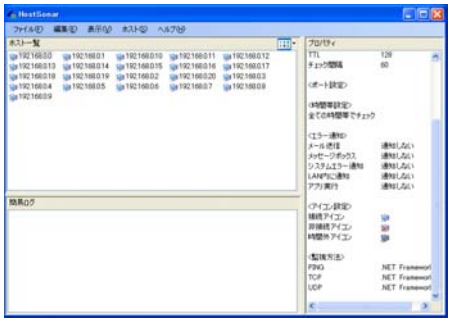
IPアドレス、ホスト名、説明を表示します。

②アイコン



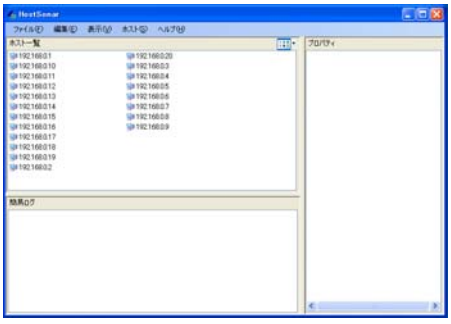
IPアドレスを表示します。

③小アイコン



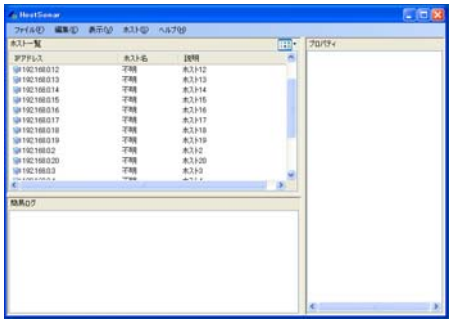
IPアドレスを表示します。

④一覧



IPアドレスを表示します。

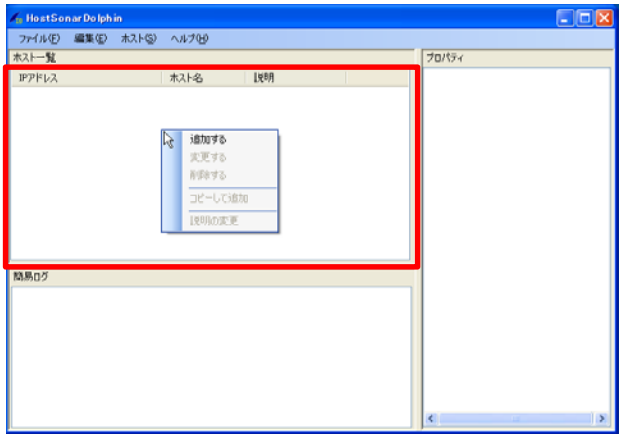
⑤詳細

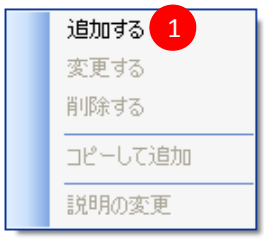


IPアドレス、ホスト名、説明を表示します。

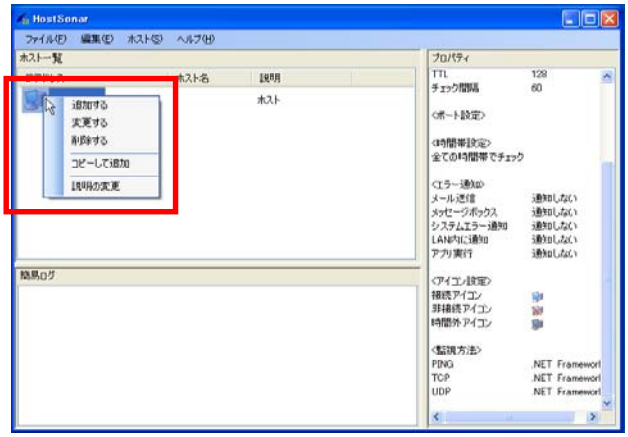
ホスト一覧

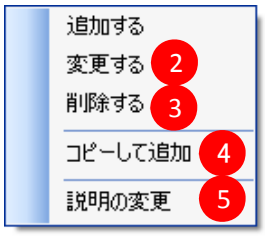
ホスト一覧内で**右クリック**することで、メニューが開き、ホストの追加・変更・削除が行えます。
ホストを選択せずに右クリックした場合：





既に登録してあるホストを選択して右クリックをした場合：





①追加する

ⅰ)ホスト一覧の空白部を右クリックします。
ⅱ)開いたメニューより **追加する** を選択します。
ⅲ)ホスト監視設定でホストの監視設定を行います（☞ホスト監視設定の項を参照してください)。

②変更する

ⅰ)ホスト一覧より変更対象ホストを選択し、右クリックします。
ⅱ)開いたメニューより **変更する** を選択します。
ⅲ)ホスト監視設定でホストの監視設定の変更を行います（☞ホスト監視設定の項を参照してください)。
※ホスト一覧より変更対象ホストを選択し、ダブルクリックすることで同様の操作が行えます。

③削除する

ⅰ)ホスト一覧より削除対象ホストを選択し、右クリックします。
ⅱ)開いたメニューより **削除する** を選択します。
※複数選択することで、同時に削除することができます。

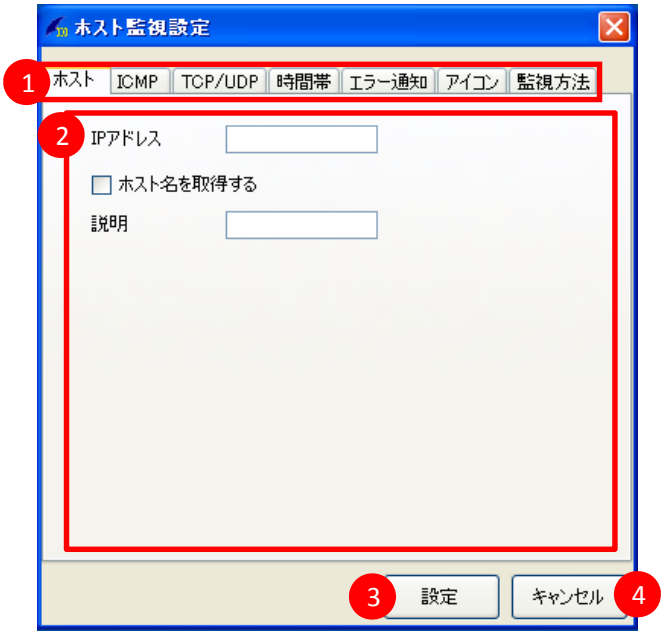
④コピーして追加

ⅰ)ホスト一覧よりコピー対象ホストを選択し、右クリックします。
ⅱ)開いたメニューより **コピーして追加**を選択します。

⑤説明の変更

ⅰ)ホスト一覧より説明の変更対象ホストを選択し、右クリックします。
ⅱ)開いたメニューより **説明の変更**を選択します。

ホスト監視設定



①タブメニュー

各タブをクリックすることで、設定項目が切り替わります。

②設定メニュー

各タブに応じた設定が行えます。

設定が行えるのは、ホスト ／ ICMP ／ TCP/UDP ／ 時間帯 ／ エラー通知 ／ アイコン ／ 監視方法 の7つ

（☞ホスト監視詳細設定の項を参照してください)。

③設定

設定を変更し、ホスト監視設定ダイアログを閉じます。設定された内容は iniファイルに保存します。

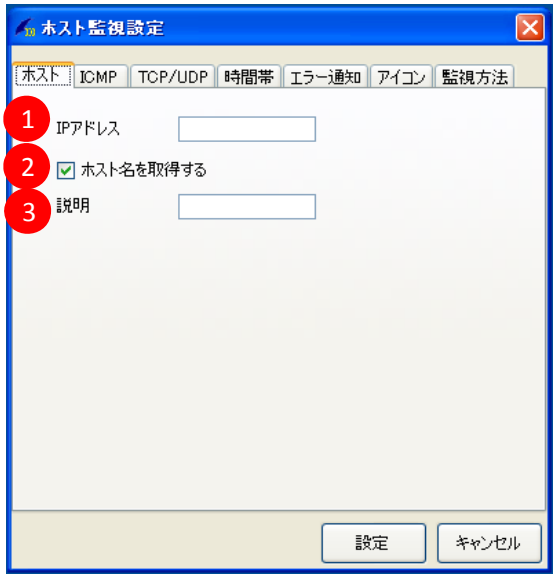
④キャンセル

設定の変更を破棄して、ホスト監視設定ダイアログを閉じます。

ホスト監視詳細設定メニュー

1)ホスト

ホストの基本設定を行います。



①IPアドレス

バージョン選択した形式で、監視するホストのIPアドレスを入力します。

②ホスト名を取得する

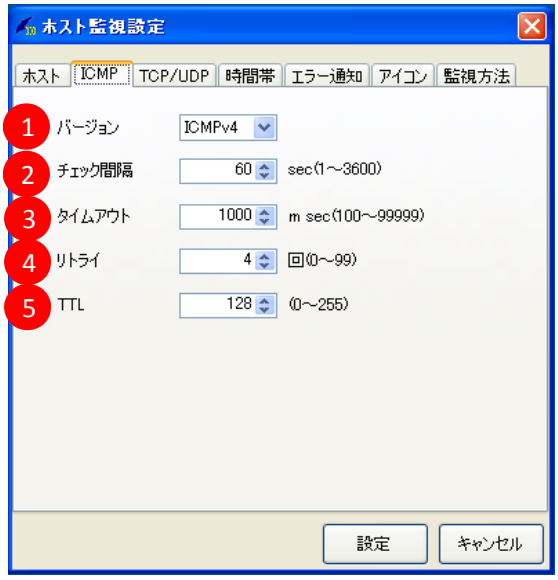
チェックすると、ホスト名を取得します。

③説明

監視するホストに対する説明を入力します。

2)ICMP

PING応答での監視の設定を行います。



①バージョン

ホストのIPアドレスの形式を選択します。ICMPv4 ／ ICMPv6 から選択します。

②チェック間隔

PINGで監視する間隔です。1～3600秒の範囲で入力します。

③タイムアウト

PINGのタイムアウト値です。100～99999ミリ秒の範囲で入力します。

④リトライ

応答が返って来なかった場合のリトライ数です。0～99回の範囲で入力します。

⑤TTL

PINGのTTLです。0～255の範囲で入力します。

3)TCP/UDP

監視するポートの設定を行います。

①プロトコル

監視するポートのプロトコルを選択します。TCP ／ UDP ／ TCP/UDP から選択します。

②ポート番号

監視対象のポート番号です。1～65535 の範囲を選択（または入力）します。

③チェック間隔

ポートを監視する間隔です。1～3600 秒の範囲を選択（または入力）します。

④タイムアウト

ポート監視のタイムアウト値です。100～99999 ミリ秒の範囲を選択（または入力）します。

⑤追加ボタン

設定した項目を追加します。重複するポート番号は追加できません。

⑥変更ボタン

現在選択されているポート設定を変更します。

※変更する場合は、ポート設定が選択されている必要があります。

⑦削除ボタン

現在選択されているポート設定を削除します。

また、複数選択することで、同時に削除することが可能です。

※削除する場合は、ポート設定が選択されている必要があります。

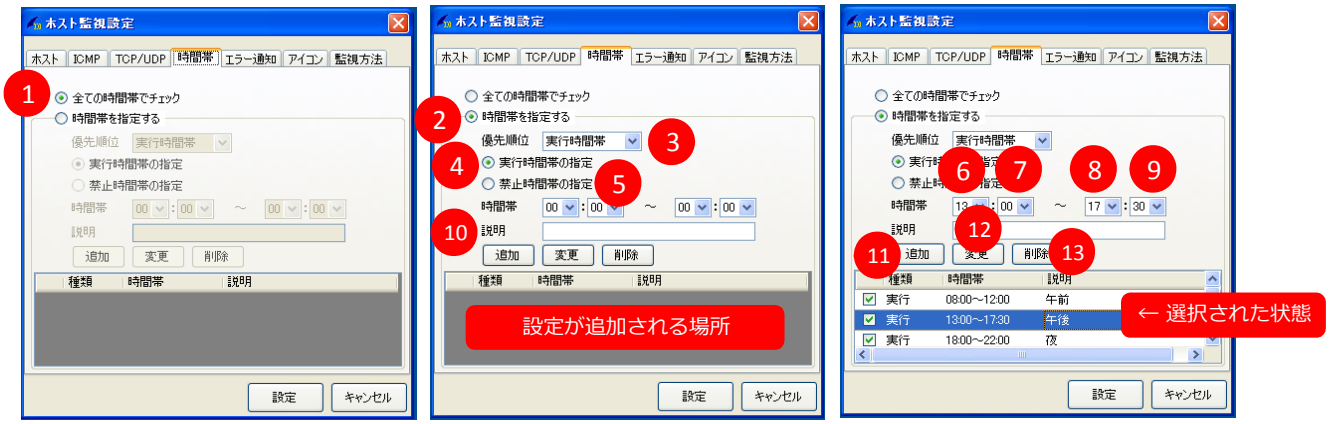
注意

ⅰ)追加したポート設定のチェックを外すと、無効となり監視対象から外れます。

ⅱ)追加したポート設定を選択すると、各設定項目に選択されているポート設定の
プロトコル、ポート番号、チェック間隔、タイムアウトを反映します。

4)時間帯

監視する時間帯を設定します。



①全ての時間帯でチェック

全ての時間帯でホストを監視します。

②時間帯を指定する

時間帯を指定してホストを監視します。

③優先順位

実行時間帯、禁止時間帯のどちらを優先するかを選択します。

④実行時間帯の指定

設定する時間帯に実行時間帯を指定します。

⑤禁止時間帯の指定

設定する時間帯に禁止時間帯を指定します。

⑥開始時間（時間）

開始時間の時間を設定します。時間は 0～23 の範囲を選択（または入力）します。

⑦開始時間（分）

開始時間の分を設定します。分は 0～59 の範囲を選択（または入力）します。

⑧終了時間（時間）

終了時間の時間を設定します。時間は 0～23 の範囲を選択（または入力）します。

⑨終了時間（分）

終了時間の分を設定します。分は 0～59 の範囲を選択（または入力）します。

⑩説明

時間帯の説明を入力（任意文字列）します。

⑪追加

設定した項目を追加します。重複する時間帯は追加できません。

⑫変更

現在選択されている時間帯設定を変更します。

※変更する場合は、時間帯設定が選択されている必要があります。

⑬削除

現在選択されている時間帯設定を削除します。

また、複数選択することで、同時に削除することが可能です。

※削除する場合は、時間帯設定が選択されている必要があります。

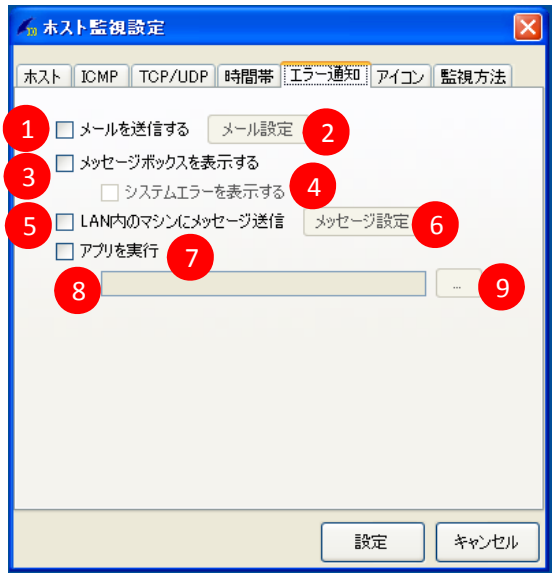
注意

ⅰ)追加した時間帯設定のチェックを外すと、その時間帯は無効となります。

ⅱ)追加した時間帯設定を選択すると、各設定項目に選択されている時間帯設定の時間帯、説明を反映します。

5)エラー通知

監視ホストの状態変更、エラー発生した場合に通知する方法の設定を行います。



①メール送信

チェックすると、エラー通知をメールで送信します。
メール設定画面でメール送信設定が必要です（☞メール設定の項を参照してください)。

②メール設定ボタン

メール設定画面を開きます（☞メール設定の項を参照してください)。

③メッセージボックスを表示する

チェックすると、エラー通知をメッセージボックスで表示します。

④システムエラーを表示する

チェックすると、システムエラーをメッセージボックスで表示します。

⑤LAN内のマシンにメッセージ送信

チェックすると、同一LAN上のPCにエラーを通知します。
メッセージ設定でメッセージ送信設定が必要です。
（☞メッセージ設定の項を参照してください)

⑥メッセージ設定ボタン

メッセージ設定画面を開きます（☞メッセージ設定の項を参照してください)。

⑦アプリを実行

エラー発生時に指定したアプリケーションを実行します。

⑧実行するアプリのパス

実行するアプリケーションのパスを指定します。

⑨アプリのパス参照ボタン

参照画面を開きます。

6)アイコン

監視ホスト一覧に表示されるアイコンの設定を行います。

①状態アイコン

接続できる、接続できない、時間外のアイコンを表示します。

ⅰ)接続できるアイコン

監視時間内で接続成功時に表示されるアイコンを設定します。

ⅱ)接続できないアイコン

監視時間内で接続エラー時に表示されるアイコンを設定します。

ⅲ)時間外アイコン

監視時間外の場合に表示されるアイコンを設定します。

②HostSonarDolphinに登録したアイコン

HostSonarDolphinに登録されているアイコンを表示します。

③設定ボタン

状態アイコンを、HostSonarDolphinに登録したアイコンで選択したものに変更します。

手順

ⅰ)状態アイコンの中から変更したいアイコンを選択します。

ⅱ)HostSonarDolphinに登録したアイコンから設定したいアイコンを選択します。

ⅲ)設定ボタンを押します。

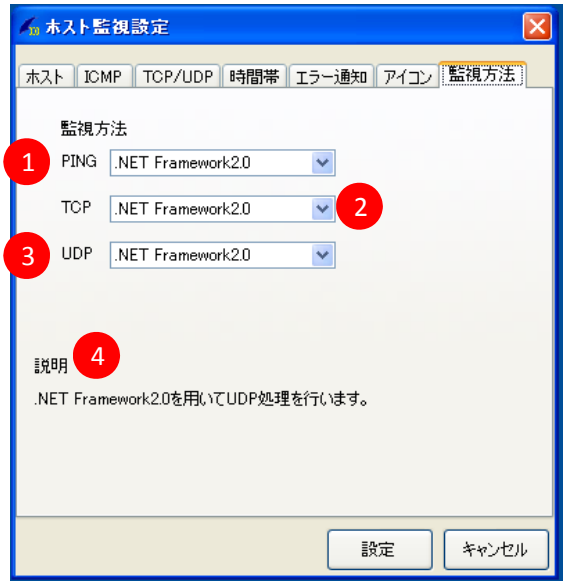
④参照

外部アイコンを設定する場合に選択します。

参照したアイコンはHostSonarDolphinに登録したアイコンに追加します。

7)監視方法

ホストの監視方法の設定を行います。



①PING

.NETFramework2.0 ／ WinSock のいずれかを選択します。

②TCP

.NETFramework2.0 ／ WinSock のいずれかを選択します。

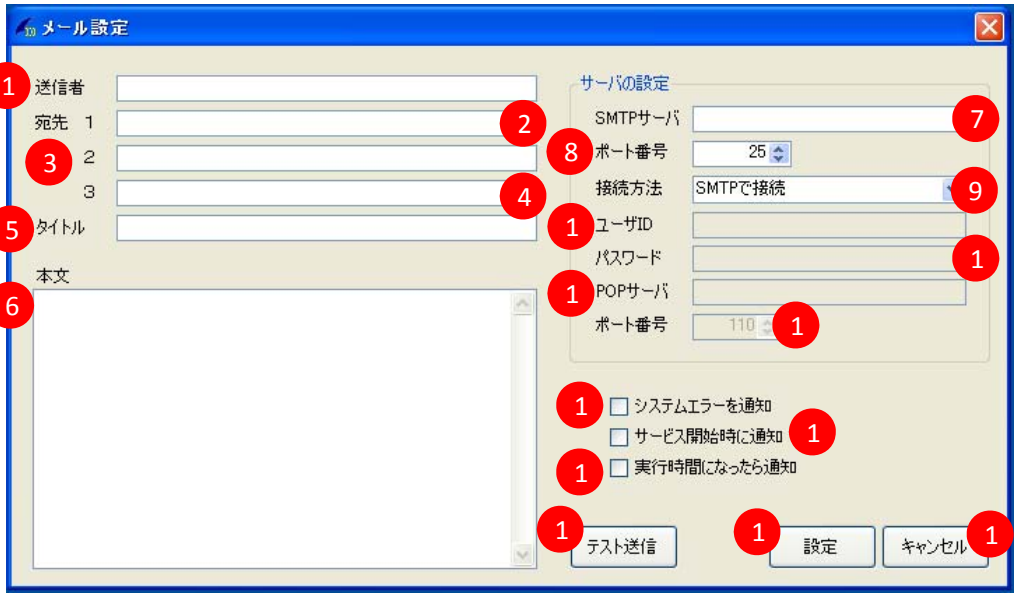
③UDP

.NETFramework2.0 ／ WinSock のいずれかを選択します。

④説明

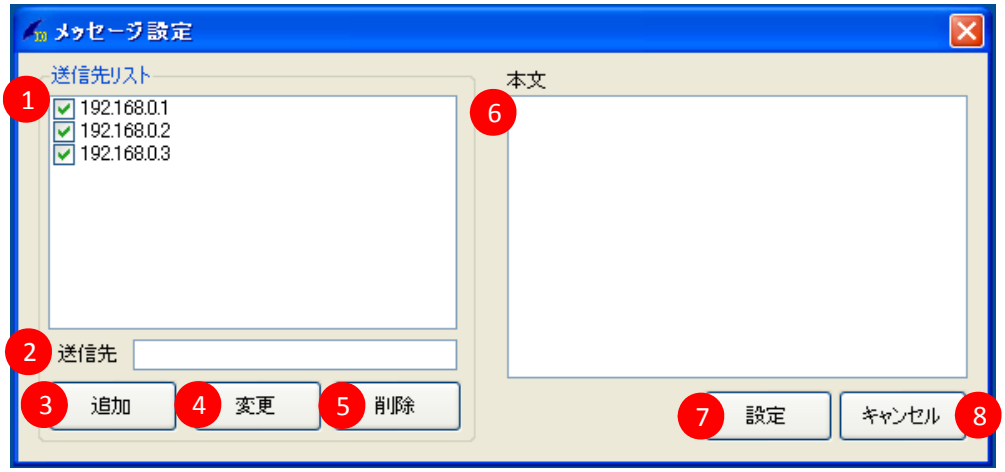
選択されている監視方法の説明を表示します。

メール設定



①送信者　　エラー通知メールの送信者アドレスを設定します。
②宛先１　　エラー通知メールを送信する対象アドレスを設定します。
③宛先２　　エラー通知メールを送信する対象アドレスを設定します。
④宛先３　　エラー通知メールを送信する対象アドレスを設定します。
⑤タイトル　　エラー通知メールのタイトルを設定します。
⑥本文　　エラー通知メールの内容を編集、設定します。
以下のキーワードで動的な文字列を設定できます。
ⅰ)%ip%　　チェックするIPアドレス
ⅱ)%host%　　チェックするホスト名
ⅲ)%account%　　チェックするホストの説明
ⅳ)%error%　　エラー通知のメッセージ
※%error%はシステムエラーを通知にのみ有効です。
ⅴ)%date%　　ホスト無応答を認識した日付
ⅵ)%time%　　ホスト無応答を認識した時間
⑦SMTPサーバ　　メール送信用サーバを設定します。
⑧ポート番号　　メール送信ポートを設定します。
⑨接続方法　　接続方法は以下の３つから選択します。
SMTPで接続 ／ SMTP認証で接続 ／ POPBeforeSMTPで接続
⑩ユーザID　　SMTP認証で接続 または POPBeforeSMTPで接続 の場合、
メール送信に使用するユーザIDを設定します。
⑪パスワード　　SMTP認証で接続 または POPBeforeSMTPで接続 の場合、
メール送信に使用するパスワードを設定します。
⑫POPサーバ　　POPBeforeSMTPで接続 の場合、メール送信に使用する
POPサーバを設定します。
⑬ポート番号　　POPBeforeSMTPで接続 の場合、メール送信ポートを設定します。
⑭システムエラーを通知
チェックすることでシステムエラー時にメール送信をします。
⑮サービス開始時に通知
チェックすることでサービス開始時にメール送信をします。
⑯実行時間になったら通知
チェックすることで監視開始時にメール送信をします。
⑰テスト送信　　設定した内容でメール送信のテストを行ないます。
⑱設定　　設定を保存し、メール設定画面を閉じます。
⑲キャンセル　　設定を破棄し、メール設定画面を閉じます。

メッセージ設定



①送信先リスト

メッセージ登録先に登録されたIPアドレスの一覧を表示します。
チェック済みのIPアドレスにメッセージを送信します。

※チェックボックスをチェックすると、IPアドレスが有効になります。

②送信先

追加したい送信先のIPアドレスを入力します。

③追加

送信先に入力されたIPアドレスを送信先リストに登録します。

④変更

手順
ⅰ)送信先リストより変更したいIPアドレスを選択します。
ⅱ)IPアドレスを変更します。
ⅲ)変更ボタンを押します。

⑤削除

選択された送信先リスト上のIPアドレスを削除します。

⑥本文

送信するメッセージを編集します。

⑦設定

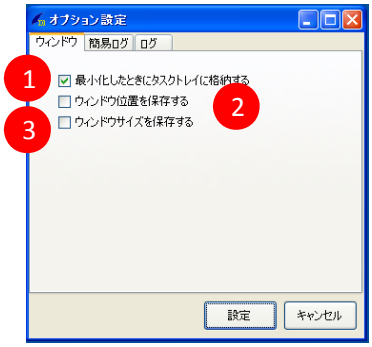
設定を保存し、メッセージ設定画面を閉じます。

⑧キャンセル

設定を破棄し、メッセージ設定画面を閉じます。

オプション設定

1)ウィンドウ

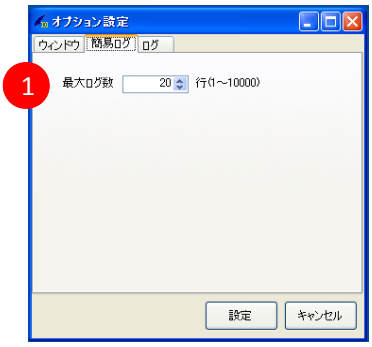


①最小化したときにタスクトレイに格納する
チェックすることで、最小化したときにHostSonarDolphinを通知領域（タスクトレイ）に格納します（☞通知領域の項を参照してください）。

②ウィンドウ位置を保存する
チェックすることで、終了時にウィンドウ位置を保存します。

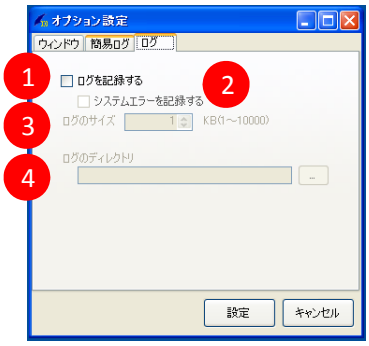
③ウィンドウサイズを保存する
チェックすることで、終了時にウィンドウサイズを保存します。

2)簡易ログ



①最大ログ数
簡易ログに表示される最大ログ数

3)ログ



①ログを記録する
チェックすることで、ログを記録します。

②システムエラーを記録する
チェックすることで、システムエラーを含んだログを記録します。

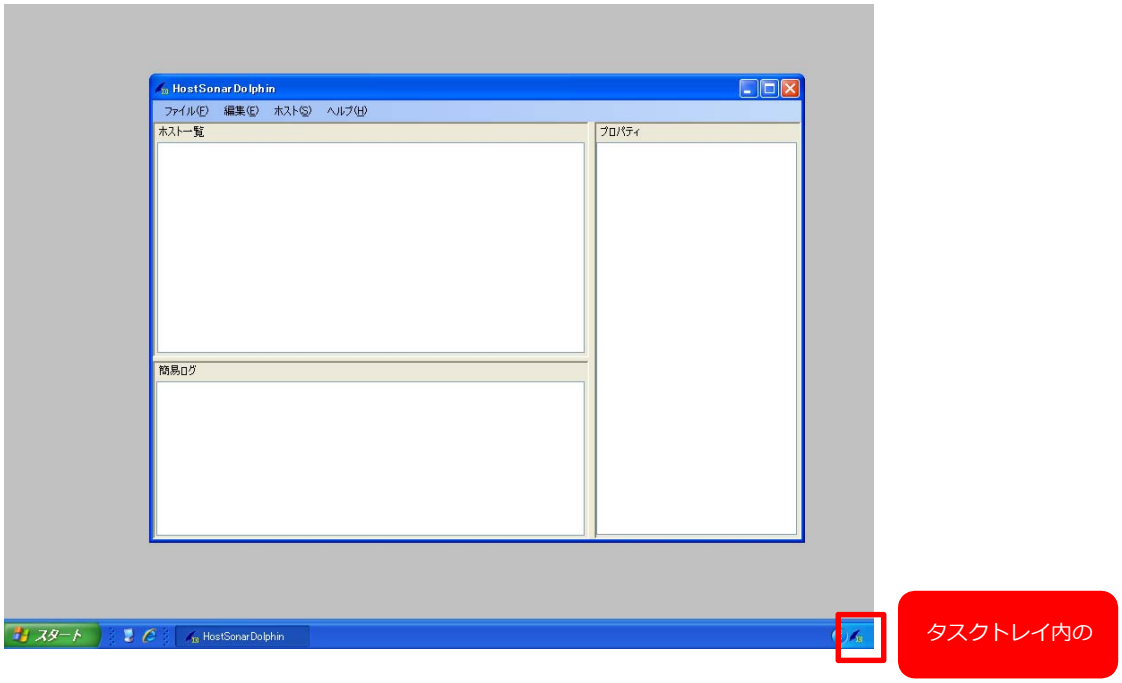
③ログのサイズ
ログのサイズを指定します。1～10000 KBの範囲で入力します。

④ログのディレクトリ
ログが出力されるディレクトリを指定します。

通知領域（タスクトレイ）

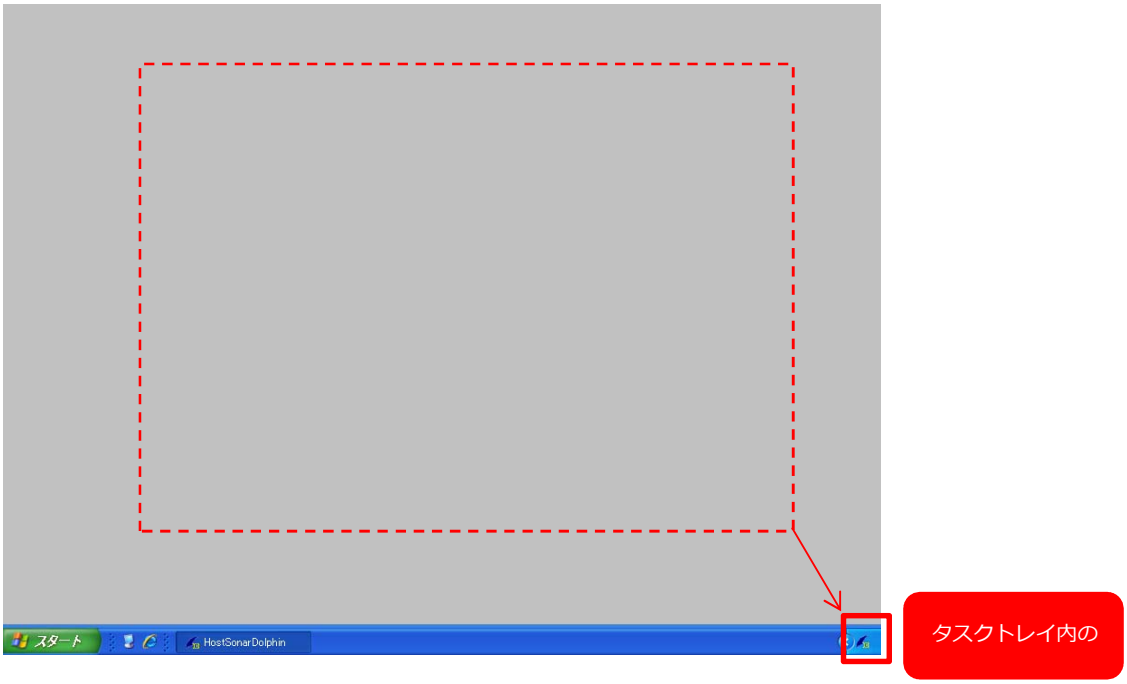
1)通常時の状態

HostSonarDolphinが起動しているときは、通知領域(タスクトレイ)にアイコンを表示します。



2)最小化時の状態

最小化したときにタスクトレイに格納する にチェックされている状態で最小化ボタンを押すと、
通知領域（タスクトレイ）にHostSonarDolphinを格納します。

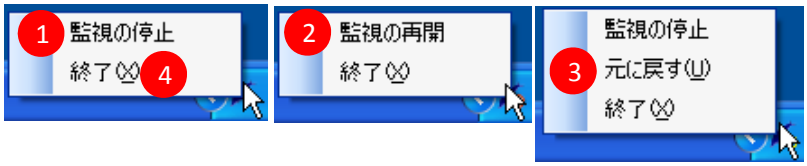


3)アイコンと状態

アイコン	HostSonarDolphinの状態
	ホストを監視している状態です。
	ホストの監視を停止している状態です。

4)タスクトレイメニュー

通知領域（タスクトレイ）のアイコンを右クリックすることで、メニューを開くことが出来ます。



①監視の停止

ホストの監視を停止します。

※このメニューはホストが監視されているときだけ表示します。

②監視の再開

ホストの監視を再開します。

※このメニューはホストの監視が停止されているときだけ表示します。

③元に戻す

HostSonarDolphinのサイズを通常に戻します。

※このメニューはHostSonarDolphinがタスクトレイに格納されているときだけ表示します。

④終了

HostSonarDolphinを終了します。